



プール掘りによる治水安全度の 早期向上と多様な水際の創出

袋井土木事務所 河川改良課
主任 小長谷 章



「工事中」がみらいをつくる！どぼくってオモシロイ！
静岡県交通基盤部



◆発表の流れ

(1) 事業概要

事業位置図

現況

事業背景

整備計画

(2) 実施内容

河道拡幅工事の内容

多自然川づくり配慮点

(3) その他

今後の展開

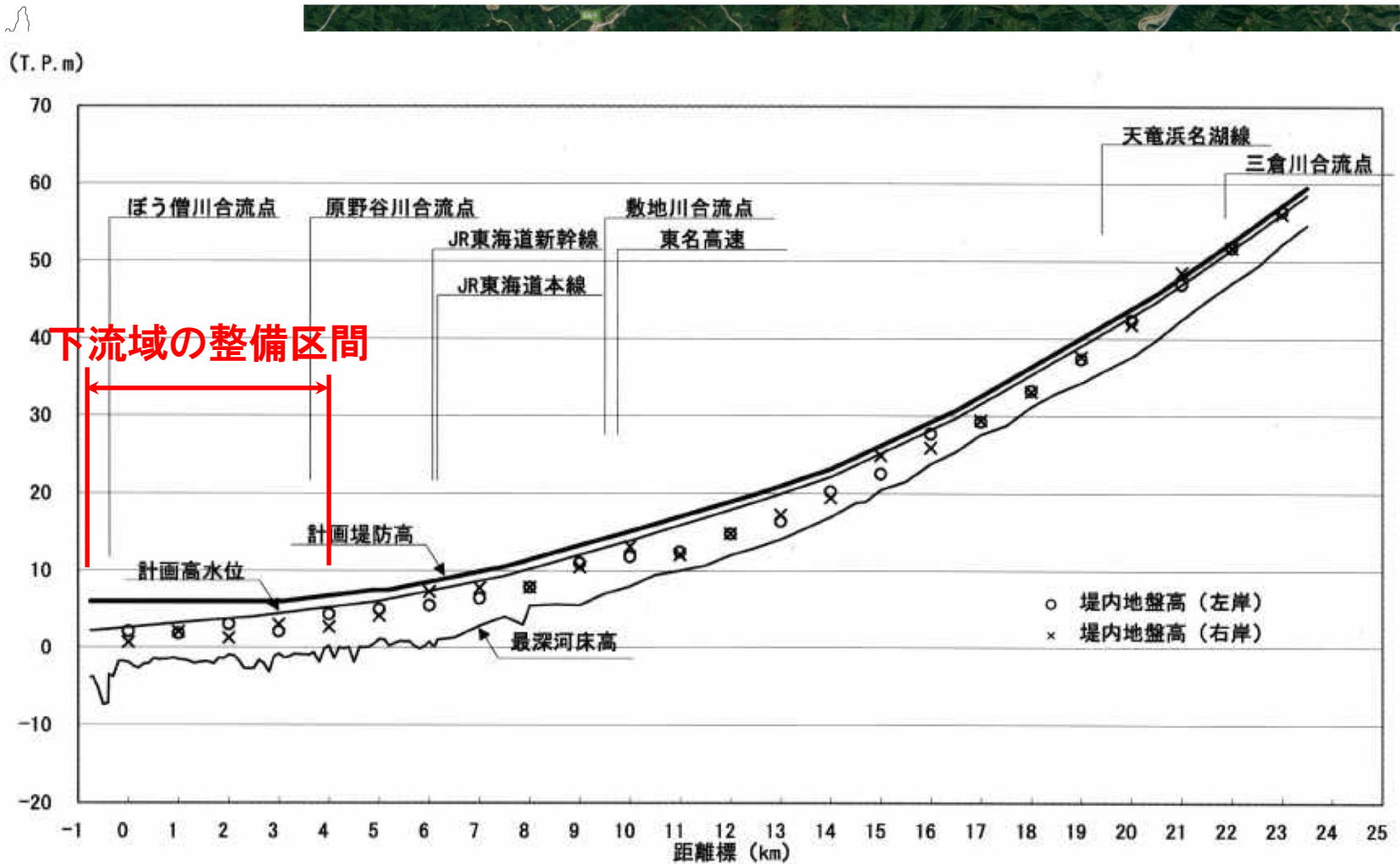


「工事中」がみらいをつくる！どぼくってオモシロイ！

静岡県交通基盤部



◆ 事業位置図



計画高水位勾配	← $i=1/1,900$ →		← $i=1/1,250$ →		← $i=1/760$ →		← $i=1/550$ →		← $i=1/500$ →		← $i=1/350$ →		← $i=1/300$ →		← $i=1/250$ →		← $i=1/210$ →	
計画高水位 (T.P.m)	2.61	4.02	6.02	9.30	13.85	18.85	22.13	29.70	44.70	58.48								
追加距離 (km)	0.00	2.50	5.00	7.50	10.0	12.5	14.0	16.5	20.5	23.5								

- 57 -



◆ 太田川下流域 (現況)



自然豊かな河口部の環境は、汽水域、干潟、ワンドがみられる。
この辺りは、ほぼ汽水域となっており最下流部は遠浅の砂底となっている。
ぼう僧川より上流には大規模な砂州が発達し、ヨシ等が生育する塩性湿地となっており、
干潮時には干潟が広がる。
太田川橋（国道150号）下流左岸に小規模な自然と出来たワンドが形成されている。

◆ 太田川下流域 (現況)

汽水・海水魚が最も多く30種、回遊魚が4種

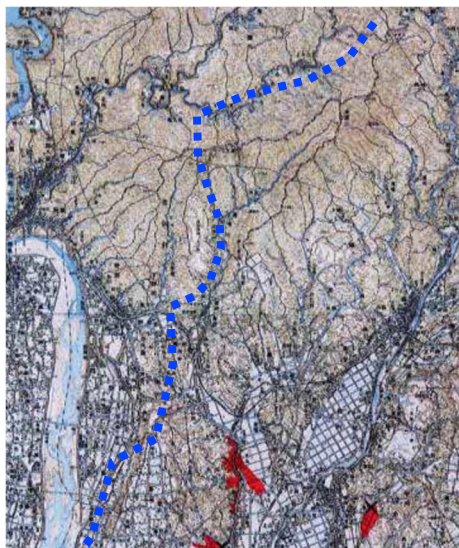
回遊魚としては、ニホンウナギ、ウグイ、ボウズハゼを確認している。

汽水・海水魚の中で、イシカワシラウオ、ボラ、マゴチ、ヒナハゼ、ヒメハゼなどが季節をとおして確認できたほか、ヒモハゼやチワラスボ属の1種Cなど汽水域の泥底に生息するハゼ類を夏季調査において確認。

◆ 事業背景 (過去の出水)

S49年7月七夕豪雨による浸水被害

H10年9月24日洪水による浸水被害



床上浸水 69戸
床下浸水 152戸

◆ 事業背景（河川整備計画策定と整備範囲）

平成13年12月 太田川水系河川整備計画 策定

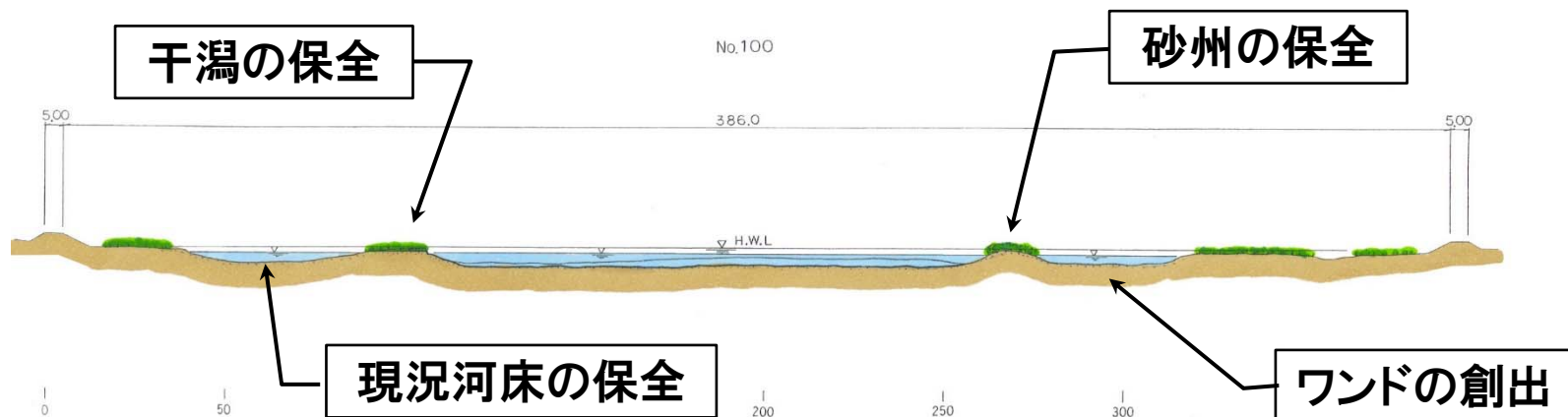
平成10年9月洪水と同規模の出水が発生しても、洪水による浸水被害を生じさせないで流下させることを目的とした河川整備を行う。

年超過確率：1/10 出水規模は、豊浜基準点で 3,200m³/s の流量

【河口から4.0 km 付近】

掘削による河積の拡大を実施。

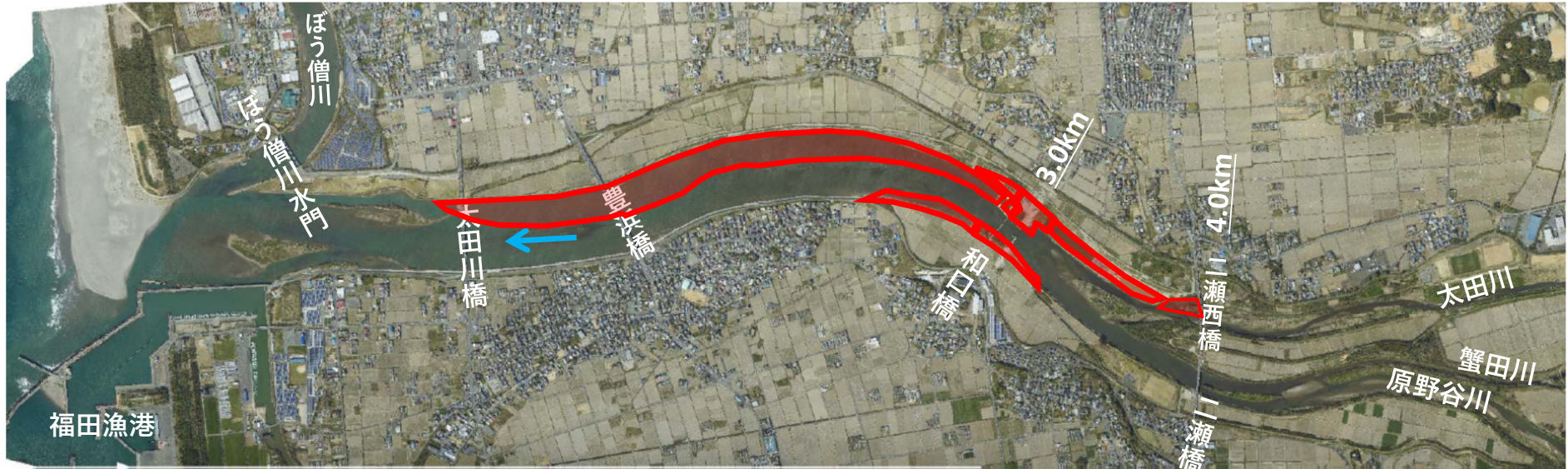
施工に際しては、鳥類の貴重な餌場、魚類の生息場となっている砂州（干潟）の保全、ハマボウ群落の保全、ヨシ類の保全及びワンドの創出等による多様な形状の水際の確保に努めるものとする。



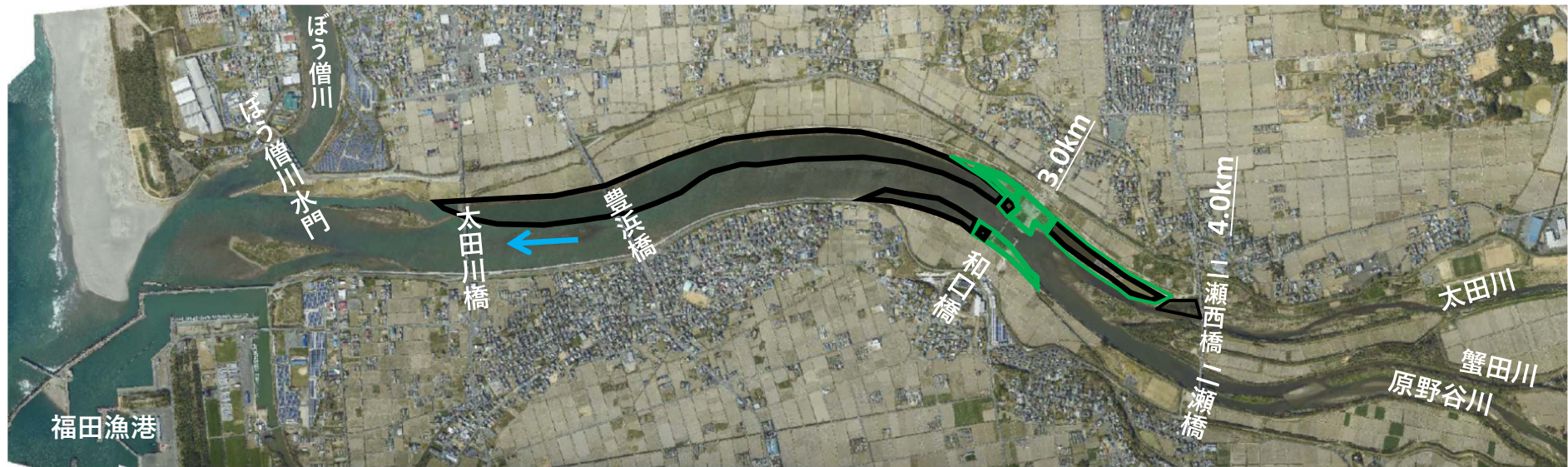
<計画横断図(河口から0.1km付近)>

◆ 河川整備計画 (太田川 1)

【河川整備計画に位置付けられた整備区間】



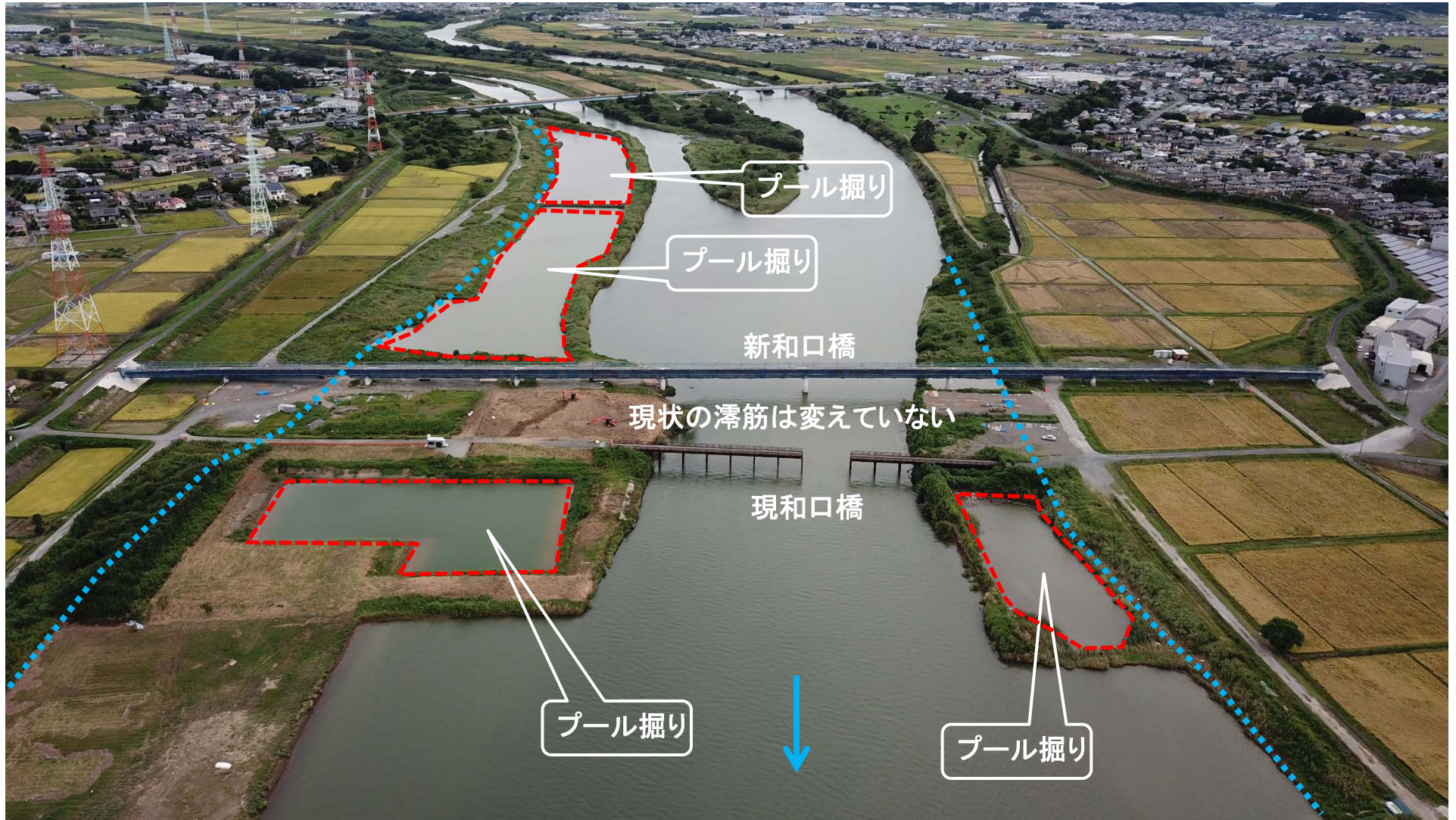
【令和2年度当初時点の進捗状況】



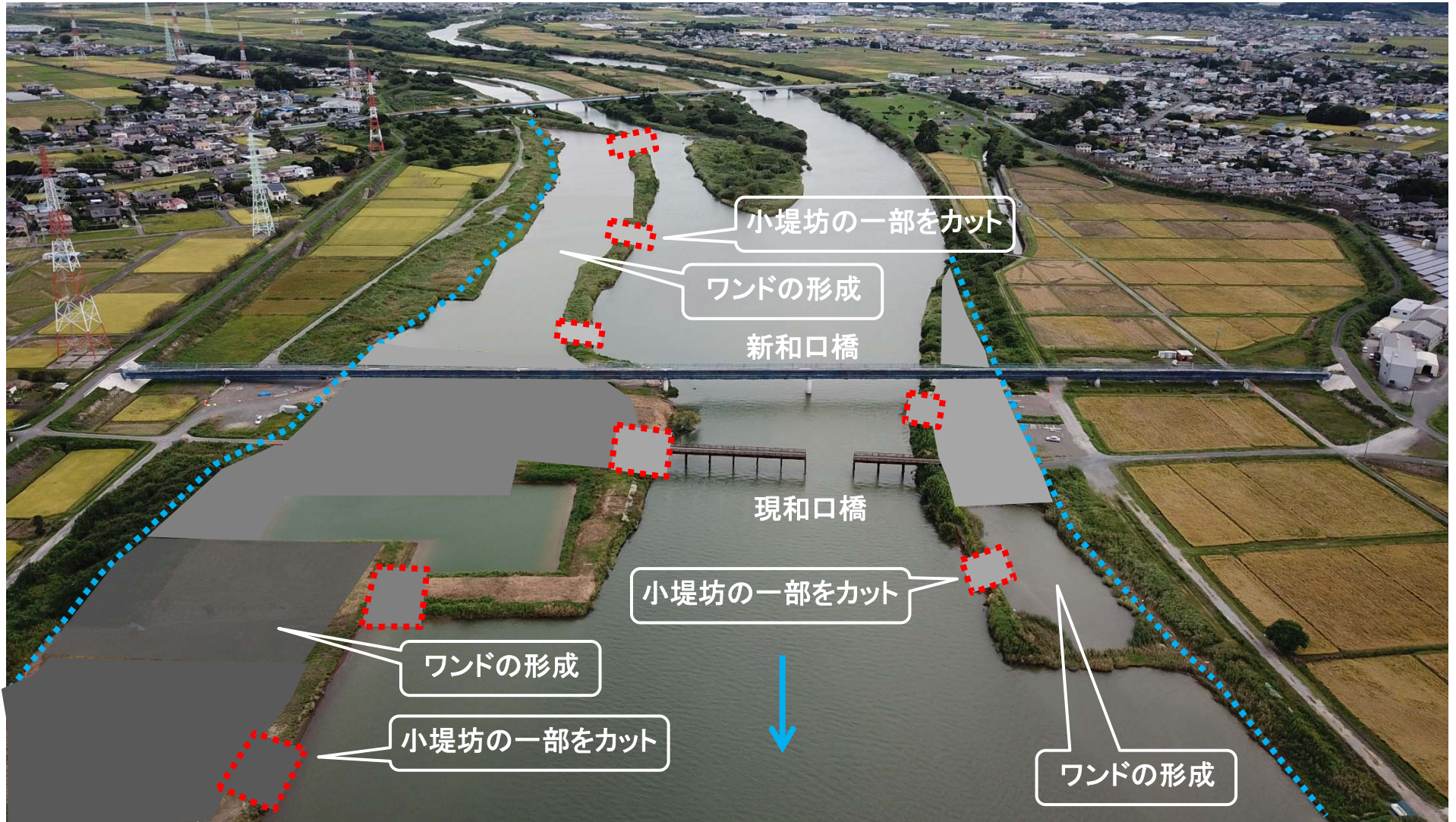
◆ 河川整備計画 (河道掘削箇所)



◆ 河道拡幅工事の内容 (現状)



◆多自然川づくり配慮点 (今後)



◆多自然川づくりの配慮点 (3ヶ年緊急対策)



二瀬西橋付近から上流を望む(R2.3撮影)

3ヶ年緊急対策にて太田川も断面狭小となっている整備計画区間の上流（二瀬西橋上流）においても、下流に負荷をかけないように陸地をプール掘りしている。中規模程度の洪水で残した小堤防が破堤し、自然にワンドが出来る程度に小堤防を残した。

R1.9撮影



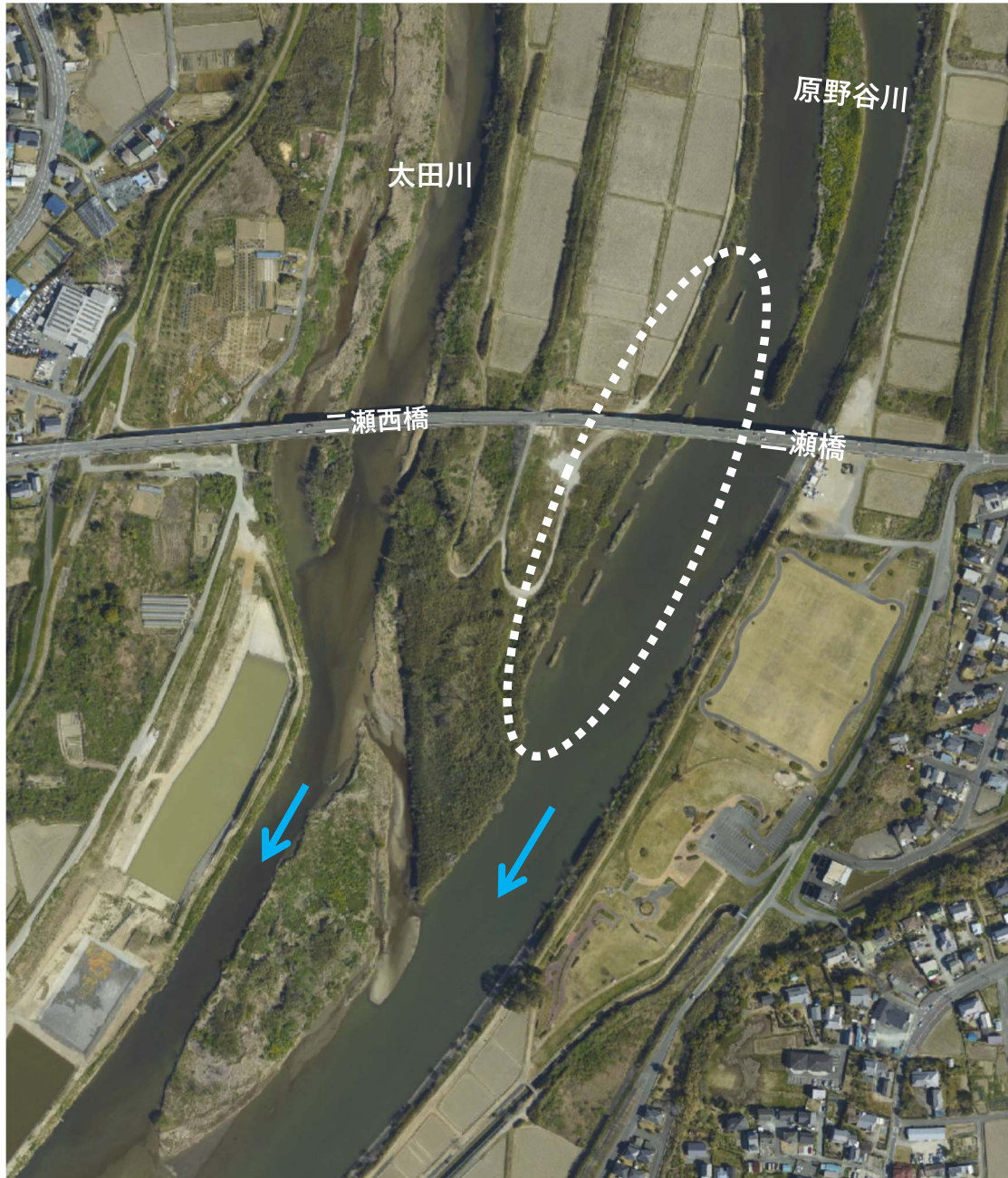
◆ 多自然川づくりの配慮点 (今後)



太田川橋下流では、堆積土砂の撤去が必要となる。そこで、当該箇所には、砂州、干潟があり、これを残して、必要な断面が確保出来るか、検討している。

残すべき砂州、干潟、ワンド、ハマボウ群落を決め、計画流量を流せる断面を確保し、掘削することとした。

◆多自然川づくりの配慮点 (今後)

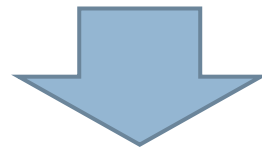


太田川の支川である原野谷川にも、太田川との合流点付近にワンドとなる砂州を意図的に残している。

ワンドは、水中生物が休息したり、繁殖するための重要な場所となる。当該箇所の隣接地も立木等が繁茂しているが、それが生物の貴重な棲み処となっている。

◆ 今後の展開

- ・太田川は、過去から洪水被害を受けており、治水安全度の向上は流域住民の悲願である
- ・太田川は、自然につくられた砂州、干潟、ワンド等の多様な水際が形成されていることが水棲生物の貴重種が多種・多様にいる一つの要因となっている



多様な水際の保全と治水を考慮した改修を検討し、現状と将来形、多自然川づくりと多岐に配慮した施工を実施する。



和口橋の上部工の桁が架かりました。。

ご清聴、ありがとうございました。



「工事中」がみらいをつくる！どぼくってオモシロイ！
静岡県交通基盤部

